

(第2回大阪府子ども施策審議会 子どもの貧困対策部会 資料)

## 大阪府子どもの生活に関する実態調査のスキーム

これまでの学識者等による貧困研究においては、次の①～③に焦点を充てることが基本的な枠組みとなっている。

- ①物的資源や生活に必要な資源の欠如（現金やサービス、住宅、医療などを含む）
- ②ソーシャル・キャピタルの欠如（つながりの欠如、近隣、友人との関係性、学校、労働市場への不参加）
- ③ヒューマン・キャピタルの欠如（教育レベル＞雇用の可能性＞自分の能力を労働力（稼働）に転換する能力の欠如）

